

「先輩職員の声」

和泉消防署 警防第1課 救急係

消防職 坂口 大誠

(平成28年採用)



現在の自分の仕事

私は消防歴6年目であり、半年間の消防学校へ入校後、4年半消防隊を務め、令和3年4月より救急隊へ配属となりました。患者さんへの処置対応だけでなく、救急車を運転する「機関員」も務めており、緊急走行の仕方や患者さんへの救急処置法など学ぶべきことがたくさんありますが、病気や怪我で困っている人を近くで助けることができ、仕事の達成感をとても感じることができる仕事です。



和泉市を選んだ理由

私は5歳のころから和泉市で育ちました。幼い頃から人の役に立つ仕事に就きたいという思いが強く、その中でも困っている人を最前線で助ける消防士になりたいという夢を持っていました。小学校4年生の時、社会見学で和泉市消防本部の庁舎見学があり、裏のグラウンドで消防隊の方と一緒に空気呼吸器を担いで走らせていただく機会がありました。その際、消防隊の方から「大きくなったら和泉消防においで」と言ってくださり、そのことが忘れられず和泉市消防本部を選びました。



実際に働いてみて

消防・救急共に、駆けつける現場ごとに内容は多種多様であり、その都度臨機応変な判断と行動が求められ、その結果傷病者の命を左右してしまうということをととても実感する仕事だと感じます。そんな中でも、患者さんなどから「ありがとうございました」や「本当に助かりました」という言葉をかけていただけることがあり、その一言が大変嬉しく、励みになります。



仕事の面白さや和泉市の良さなど就職してみて感じること

人の命を助けるという現場では、大きなプレッシャーを感じますが、一生懸命取り組み生死の境をさまよう患者を助けることができたときは、何にもかえがたい達成感を味わうことができ、消防士になってよかったと思います。そのために繰り返し訓練を実施し、熱心に指導して下さる上司の方がたくさんいるとても良い環境であるのが和泉市消防本部の良さです。



これから和泉市を受験しようと思っている人へのメッセージ

消防は消火・救急・救助活動の他にも、火災などを未然に防ぐ予防・防災活動と幅広い仕事です。人の命を守ると共に、自分の命も守らなければならない、そのためには体力錬成や知識・技術の習得などとても特殊で大変な仕事ですが、人の命を守る仕事というとてもやりがいのある仕事だと僕は思います。頼りになる優しい先輩がたくさんいますので、一緒に頑張りましょう！